

Google が実践する DEI ~インクルーシブ デザインのアプローチ~

宮崎 あゆみ

Google Cloud

Head of Business Development

高岸 由佳子

Google Cloud

カスタマー エンジニア



なぜ DEI が重要なのか

DEIとは

Diversity (多様性) 組織の中で性別(ジェンダー)、年齢、国籍、専門性、 ライフスタイル等の様々な属性を持った社員が所属していること 例)チームメンバーの性別、年齢、国籍、能力は偏ってないでしょうか?

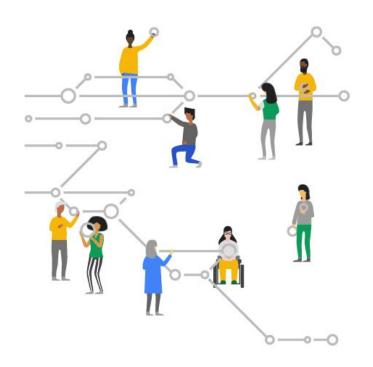
Equity (公平性) 社員一人ひとりに**置かれた状況に合わせて**、 目的達成のための**ツールや機会を提供**すること ≠Equality 例) 会議の開催時間はすべての人が出席できる時間ですか?

Inclusion (包括性) 全ての多様な人材が組織内で**歓迎され**、 それぞれが持つ**能力が活かされている**こと 例) 偏った人材によって意思決定が行われていないでしょうか?

Google がなぜ DEI を大切にしているか

インクルーシブな環境では...

- より生産性が向上し、イノベーション へとつながる
- イノベーションと組織の収益の間に 正の相関関係がある



DEI がビジネスに与える効果

多様性が高い上位 25% の企業は、 業界の平均値より高い収益をあげる 可能性が 35% 高い

出典: Vivian Hunt 氏、Dennis Layton 氏、Sara Prince 氏、『Diversity matters』、McKinsey & Company 1(2015 年)

より DEI のあるカルチャーを作るために

① 心理的安全性



リスクのある行動も 安心して行えるチームで あること

② 偏見の排除



一人ひとりが 無意識の偏見を自覚し、 偏見のある場面に遭遇した際に アクションを取る

③ 自分の強みを 認識する



自分の素晴らしさを認識し 他者にアピールする

① 心理的安全性

「無知、無能、ネガティブ、 邪魔だと思われる可能性のある 行動をしても、このチームなら大丈夫 だ」と信じられるかどうか



re:Work 効果的なチームとは?

パフォーマンスが高いチームがもっている共通要素

1.	心理的安全性
2.	チームメンバー間での <u>相互信頼</u>
3.	チームの <u>役割や目標</u> が明確
4.	自分にとっての <u>仕事の意味を実感</u>
5.	チームメンバーが自分の仕事について <u>インパクト</u> があると思う

チームの心理的安全性を高めるためには

1. 積極的な姿勢を示す

2. 理解していることを示す



3. 対人関係において相手を受け入れる姿勢を示す

4. 意思決定において相手を受け入れる姿勢を示す

5. 強情にならない範囲で自信や信念を持つ

② 偏見を排除

無意識の偏見(自分自身が気付かず に持っている先入観や 思い込み)を意識的に見直す

re:Work 無意識の偏見に意識を向ける



無意識の偏見をなくすために - 自分自身ができること

- 第一印象で決めつけず、先入観を取り払う
 - 少し時間を置くなどで無意識の偏見が無いか意識的に確認する
- 自らの意志決定の根拠を示す
 - 判断の根拠が説明できるようになると無意識の 偏見が入り込みにくい
- 自分の意志決定に関して、他の人からフィードバックをもらう
 - 他者の視点を取り入れ無意識の偏見が入る余地を少なくする



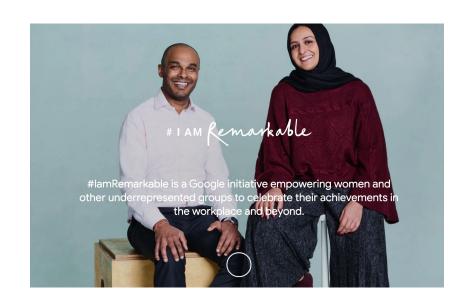
無意識の偏見をなくすために - チームでできること

- 無意識の偏見について公平性を持って話し合う
 - チーム全体として無意識の偏見についての理解を深める
- 相手に意思決定の根拠を示してもらう
 - 無意識の偏見が入っていないか確認する
- 協力して意思決定を行う
 - 多様性のあるメンバー間で意思決定に偏りがないか 意見を募る



③ 自分の強みを認識する

過小評価されているグループを含む あらゆる人々が自己肯定感を高め、 職場内外で自分たちの功績を オープンに話し合うことができるように なるためのワークショップである #lamRemarkable





Google の プロダクト開発における DEI

Google のミッション

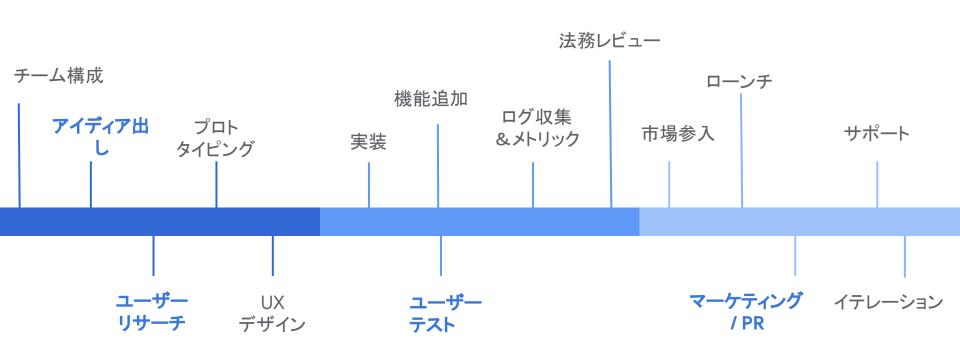
To organize the world's information and make it **universally accessible** and useful

世界中の情報を整理し、世界中の人々がアクセスできて使えるようにすること

見過ごされてきたニーズや好みに意識的に向き合う



開発プロセス全体にインクルージョンを組み込む

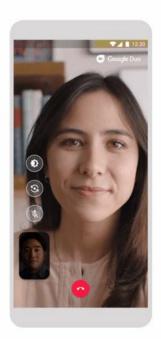




Google Workspace の開発事例

Google Duo からの学び

- ビデオの明るさを 自動的に調整する機能を実装
- 肌の色が濃い人を 過度に明るく補正しているとの フィードバックがあった
 - 機能がユーザーにネガティブな体験 をもたらしていることを発見



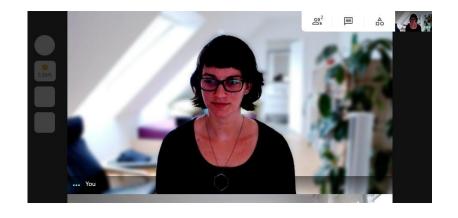
Caller view using low light mode



Receiver view. Simulated - actual effects will vary based on device and environment

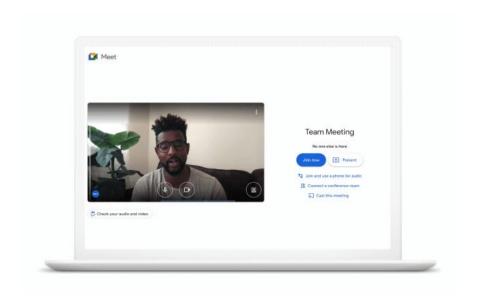
Google Meet でのローライトモードの実装

- 「逆光のなかでも固定ビデオ通話の 画質を担保すること」を目標に設定
- 暗い肌の色調でも機能するよう アルゴリズムを設計
 - ユーザーテストで明るい肌が ピンク色に表示されてしまう との指摘



Google Meet でのローライトモードの実装

- 多様なグループからの フィードバックを通じ あらゆる肌の色で 適切に機能するアルゴリズムを開発
- AI で自動的に調整し、暗い場所にいても参加者から見えやすいようはっきりと表示

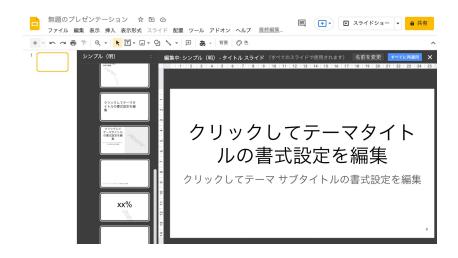


既存の機能の見直しも Inclusion(包括性)をもたらす機会



Google スライドでの「マスター」という表現を修正

- 「マスター」という用語を 「テーマ」に変更
- 中立的な用語に置き換え、より機能の内容が伝わりやすい表現に

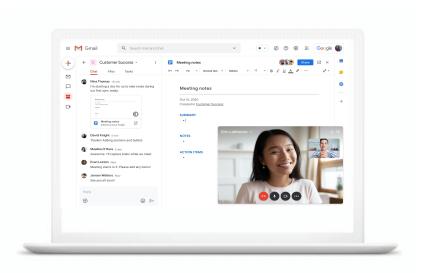


ハイブリッドワークにおける Equity(公平性)と Inclusion(包括性)を推進



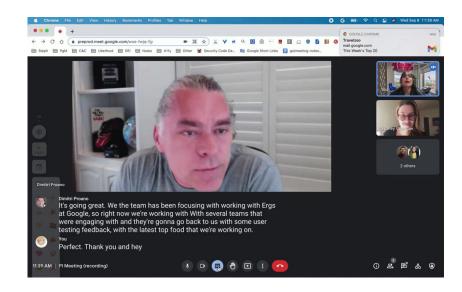
Googleドキュメントの共同編集

- オフィスにいる人とリモートで働く人が ホワイトボードでブレインストーミングを行うことは困難
- Googleドキュメントの 共同編集を使うことで リアルタイムで一緒に 話し合うことが可能
- 会議であまり発言しない人にも アイディアを発信する機会を提供



Google Meet の字幕機能

- 難聴者、聴覚障がい者の ディスカッションへの参加をサポート
- ネイティブスピーカーではない人の 会話への理解/参加を促進





今日からはじめるアクション

Google Cloud での DEI の取り組み

組織としてのDEI

- OKR を設定し DEI の重要性を定義
- DEI 推進チームの構成
- DEI 教育の実施
- 社員満足度調査により DEI の施策効果を 計測
 - 「自分は周囲とは違っていても、 職場で自分らしくいられる」
 - 「Google は、性別や人種・民族、 文化的背景に関係なくすべての社員が 自分の能力を十分に発揮できる 場所である」

個人としてのDEI

- DEI を自分ごと化し、DEI 関連イベントへの 積極的参加
- DEI 推進チームの一員となりチームの DEI 活動を リード
 - **心理的安全性**を高める活動を推進
 - チームの DEI に関する課題を集め、改善活動を実施
- チームの Well-being について改善策を提示
- 無意識の偏見に対するアクションを取る



今日からはじめる DEI

自発的な DEI 推進 メンバーとなる

職場の DEI (心理的安 全性・無意識の偏見等) についての社員の 意識調査を実施し、課 題を発見する

DEI ワークショップ・イベ 学んだことや DEI に関 ントを開催し、DEI を高 する情報を発信し対話 める為に 取れるアクションを考え る

世界国際女性デー、 LGBTQプライドマンス、 等での情報共有 国際障害者デー等に合

する

例) DEI ニュースレター

(メルマガ)、チーム会

取り組みの効果を定期 的に計測し、プランを 見直す



わせた関連セッション の実施

ワークショップ実践のためのツール

- Google の Unconscious Bias (無意識の偏見)@ Work
 - o <u>Google re:Work ガイド: 無意識の偏見に意識を向</u> <u>ける</u>
 - ファシリテーター ガイド
- 心理的安全性を高める
 - Google re:Work ガイド:「効果的なチームとは何か」<u>を知る</u>
 - 心理的安全性を高めるためにマネージャーに できること
 - チームの効果性に関するディスカッション ガイド
- OKRを設定する
 - o <u>Google re:Work ガイド: OKRを設定する</u>



Thank you.

